

一般質問

経済効果は？

プレミアム付き商品券の

発行

(リベラル西条)

問

売れ行きが好調で市民に好評であったプレミアム付き商品券の石鎚藩札は、有効期限が今年の10月31日までになっているが、まだ利用していないかたへの周知をどのように行うのか。また、地域に対する経済効果は、どの程度あったのか。

答

商品券の未利用者へは、事業主体の西条商工会議



好評！石鎚藩札

所並びに周桑商工会のホームページで周知を図り、各取扱店舗でのPRを行うこととしている。

また、市の広報紙やホームページなど、可能な限りの媒体を積極的に使い、あらゆる機会をとらえて、商品券が使用されるよう周知していきたい。

地域経済への効果については、プレミアム付き商品券は約1億7千800万円が地域消費につながっており、地元の中小小売店での使用率は約44パーセント、約7千800万円が使われていることから、消費拡大にも相応の効果があったものと認識している。

なお、商品券の第2弾を望む声は、事業者あるいは市民のかたがたからも届いており、関係者と協議をしていきたい。

どう支援する？

ハートなんでも相談員

(リベラル西条)

問

子どもを取り巻く環境が大きく変化する社会において、義務教育の学校生活の中でも保護者や児童・生徒を含め、さまざまな悩みを気軽に何でも相談できる環境づくりのために、ハートなんでも相談員が設置さ

れている。

小・中学校では、いじめや、不登校児童・生徒の増加などさまざまな問題があると聞いている。相談員はそういった子どもや保護者の悩みなど、多岐にわたる相談に対応する業務であるが、相談員の現状、今後の事業運営をどのように考えているのか。

答

ハートなんでも相談員は市内の全中学校と小学校1校に配置されており、平成20年度の相談件数は1千82件である。

そのうち、児童・生徒の相談が515件を占めている。相談内容は、学校生活に関することが相談件数の80パーセントを占めており、特に友人関係の相談が一番多くなっている。

相談員は11名で、1日4時間、年間70日の相談活動となっている。相談員の経歴は主任児童委員、教員OB、健全育成関係者である。相談活動により、学校や教員が気付かない悩み・心配を抱えた子どもたちへの相談・支援ができるようになり、学校もサポート体制を構築しやすくなっている。

学校の相談活動の基本は教師であるが、相談件数も多く、内容も多岐にわたっているため、今後も相談員制度を最大限活用しながら、教師の生徒指導や学級経営力を高めていけるよう指導・支援していきたい。

どう考える？

小規模学校の運営

(リベラル西条)

問

県内の市では、小・中学校の統廃合や今後の方向性などを検討している。

過去に本市の議員からの質問に対して、「地域から子どもの光を消さない。地域の願い、伝統・文化等を絡めながら、校区の弾力化、見直しについて議論していく」・「小規模校の特色を生かしながら、学校運営の費用は今後も維持する」といった主旨の答弁があった。

地域の伝統・文化の拠点である学校は存続させたいと考えるが、現在の社会情勢、本市の置かれている現状をかんがみだ場合、これまでも同じ方針を踏しゆつするか、あるいは新たな施策を検討しているのか。

答

学校は地域住民のコミュニケーション・ニティセンタールの役割を担い、豊かな地域づくりの基盤であると考えている。そして、地域から子どもの声と光を消さないこと、元気なまちづくりには子どもの存在は必要不可欠であると考えている。

市内の小規模校である田滝小学校・浦山小学校は、両校とも小規模校の良さを存分に生かした特色ある学校運営がなされている。どのような小規模校であっても、子どもが行きたくなるような地域の特性を生かした特色ある教育を進める学校を目指し、子どものいのちや体を守り、安全で安心な学校づくりに努めていきたい。



小規模校の良さを生かす田滝小学校